

平成 24 年度学校業務改善に係る取組状況

(洲浜中) 学校

1 学校業務改善に係る校内委員会について

- (1) 名称 学校業務改善推進委員会
- (2) 構成 校長、教頭、各学年代表、生徒指導担当教員、教科担当代表、事務職員、情報教育担当教員
- (3) 開催状況
 - ・年度当初に数回開催し、年度目標と計画の作成。
 - ・業務改善に係る提案がある時には、職員会前に開催し、案の検討を行う。
 - ・年度途中の評価と改善策検討のために不定期に開催。

2 取組状況

(1) H24 取組計画について

昨年度の取組に加え、今年度は学校業務改善推進校として、新たに通知表や指導要録、自転車鑑札番号検索システムなどの電子媒体化と効率化を実現する。事務部門においても、新旅費システム導入により発生した事務処理に必要なシステムの電子化を図る。

(2) 現段階の成果

校務における文書類はすべて電子化され、校内 LAN で適切に整理されている。ICT 関係のルールブックはまだ作成されていないが、混乱なく共有化されている。更に、通知表や自転車鑑札番号検索システムは 1 学期より順調に電子媒体化が済み、その後大きな混乱もなく作成された。

情報セキュリティのために教職員全員に配布した個人用の USB と、生徒の成績・個人情報用の学年ごとの USB によりデータ管理し、それぞれ金庫で適切に保管されている。

(3) 現段階の課題

ICT 化の推進は順調であるが、機器の古さによる性能不足という現実がある。学校業務が多様化する中、ソフトを充実していく必要性を感じる。また、ハード面は充実しても、それを使う教職員の ICT 面でのスキルアップ研修を増やす必要がある。

また、ノー部活デーやノー会議デー、ノー残業デーもかなり定着してきたが、現実問題として、部活指導後の生徒が完全に下校した後に日々の仕事の整理をすることを考えると、どうしても定時退庁は難しい。今後、教職員の意識改革は更に必要である。

(4) 年度末への取組

今年度予定の指導要録の電子化を年度末に向け開発中である。また、学校評価の中で新たな反省点や改善点を整理し、次年度へ向けた計画の策定を図る。

3 協力校との連携及び有効活用のための情報交換

ICT 関係が重要なカギを握るため、情報教育担当者を中心としたプロジェクトチームが必要と思われる。